



第10回 大阪マラソン 

チャリティ寄付先団体

募集要項



目 次

	ページ
チャリティプログラムにおける多彩な取り組み	… 1
1. 公募目的	… 2
2. 公募内容	
3. 応募資格	… 3
4. 応募期間	… 4
5. 応募方法	
6. 応募にあたっての留意事項	
7. 提出先	
8. 選考基準	… 5
9. 選考結果	
10. 決定後の手続き	… 6
11. 寄付先団体にご協力いただきたいこと	… 7
12. 寄付金の種類と配分	… 8
13. 寄付金の使途・報告	… 9
14. 寄付先団体の取り消し	

チャリティ文化の普及をめざして。 合言葉は「みんなでかける虹。」

大阪マラソンは、「みんなでかける虹。」を合言葉に、参加する全てのランナーをはじめ、観客の皆さん、ボランティアスタッフ等、多くの人に、チャリティに参画する機会を提供するなどチャリティプログラムを実施し、チャリティ文化の普及をめざしています。

第9回大会からは、チャリティの発展と普及、さらなる社会貢献をめざし、大阪マラソンの7つのチャリティテーマで活動する「フラッグシップパートナー」と、多様なテーマで活動する「チャレンジパートナー」の2つの枠組みを設定するとともに、チャリティランナーの定員数も1,000名へと大幅に拡大するなど、大阪マラソンのチャリティも新たなステージに突入しました。ぜひとも趣旨にご賛同いただき、積極的なご応募をお待ちしております。

● チャリティプログラムにおける多彩な取り組み

1. ランナー全員がチャリティに参加

参加ランナーには、参加料とは別に、おひとり様 2口以上（1口500円）のチャリティ募金をお願いしております。チャリティ募金は、支援を希望されたチャリティテーマに属する「フラッグシップパートナー」に交付されます。

2. 寄付を集めて走るチャリティランナー

大阪マラソンでは、自分が支援したい寄付先団体を選び、家族や友人、その団体の活動に共感した人などから7万円以上の寄付金を集めて大阪マラソンに出場できる「チャリティランナー」を募集しています。第10回大会も「チャリティランナー」を募り、チャリティへの参画意識の向上と寄付先団体との交流を通じて、チャリティを拡充していきます。チャリティランナーが集めた寄付金は全額、「フラッグシップパートナー」と「チャレンジパートナー」の当該団体に振り込まれます。

3. その他のチャリティプログラム

- (1) 大阪マラソン特設サイトの開設
- (2) なないろチャリティTシャツ、なないろチャリティキャップ、なないろウィンドブレーカー、なないろチャルティアームウォーマーニックネーム入りナンバーカードの販売
- (3) 沿道、関連イベント、商店街イベントとの連携などあらゆる機会を活用した募金活動
- (4) 大阪マラソンEXPO（以下「EXPO」という。）におけるチャリティ活動(チャリティブースの設置、チャリティステージ、チャルティアワード等の実施)
- (5) 寄付先団体と連携した広報PR活動
- (6) 寄付先団体専用応援エリアの設置
- (7) 募金箱、なないろハイトッチ手袋の製作

1 公募目的

チャリティ活動のさらなる発展と拡大をめざし、寄付先団体を幅広く募ることにより「チャリティマラソン」としての支援の輪を広げ、チャリティ文化の普及をめざしてまいります。

2 公募内容

大阪マラソンのチャリティを推進する以下のような活動を行っている団体を2つの枠組みで募集します。大阪マラソンのチャリティプログラムにより集められた募金は、採択された寄付先団体に交付し、各公募対象分野に活用していただきます。なお、「フラッグシップパートナー」と「チャレンジパートナー」への寄付金の配分については、P 8の「寄付金の種類と配分について」をご参照ください。

(1) フラッグシップパートナー

チャリティ寄付先団体をリードする存在として積極的にチャリティプログラムにご参加いただきます

【公募対象分野】

- ・大阪から世界へ、私たちから次の世代へ架ける支援の虹。7色の虹をテーマに、以下のような活動を行っている団体を求めます。
- ・それぞれの色は、大阪マラソン組織委員会（以下「組織委員会」という。）が定める以下のチャリティテーマカラーです。

【募集团体数】 14団体（7テーマ×2団体）

【チャリティランナー枠】 最低20枠以上

チャリティカラー	チャリティテーマ	活 動 内 容
紫色	美しいまちと暮らしを支える	地域清掃などまちの美化活動、歴史的景観の保全・修復、高齢者や子どもが暮らしやすいまちづくりや防災教育、災害支援に取り組んでいる団体等
紺色	スポーツ・文化を支える	すべてのアスリートの支援、ジュニアアスリート育成、生涯スポーツの振興、スポーツ施設などの環境整備、文化芸術による子どもの育成を行っている団体等
水色	自然環境を支える	水の供給設備支援や公衆衛生施設の整備、海や川など水辺に生きる生命の保護、水質浄化活動、森林再生や里山等の環境保全活動、都市緑化の推進、自然環境学習に取り組んでいる団体等
緑色	大阪のまちを支える	大阪の子どもの貧困問題解決に向けた活動を行っている団体や子どもの夢と希望を与える事業に資する活動を行っている団体等
黄色	家族を支える	難病等による長期療養で苦しむ子どもと家族を支援し、病気とたたかう子どもたちにサポート体制が整った施設の提供やサポート活動を行っている団体、待機児童・病児保育や子育て・ひとり親への支援、虐待の撲滅、若者の就労支援に貢献している団体等
オレンジ色	子どもの未来を支える	子どもたちが安心して学び、運動できる環境づくりを行っている団体等
赤色	生きる希望を支える	治療方法が確立していない病気の研究、新たな医療技術の開発に貢献している団体等

(2) チャレンジパートナー

大阪マラソンをきっかけに、チャリティの活動を広げる一歩にチャレンジしていただきます

【公募対象分野】 チャリティテーマをはじめ、多様なテーマの活動を行っている団体

【募集团体数】 15団体（予定）

【チャリティランナー枠】 5枠以上

3 応募資格

次の条件をすべて満たす場合に限り応募することができます。

- (1) 大阪マラソンチャリティプログラムに賛同し、組織委員会と協力して、チャリティ文化の普及に主体的に取り組むこと。
- (2) 大阪マラソンチャリティプログラムについて積極的に広報・PRすること（主催者手配のツール活用・各団体発行のメールマガジン配信の活用など）。
- (3) 寄付先団体は組織委員会が行うチャリティランナーの募集にあたり、募集の呼びかけなど積極的に関わるものとする。また、チャリティランナーのサポートや交流に努めること。
- (4) 「フラッグシップパートナー」に応募する団体は、大阪マラソンEXPO2020へブース出展し、団体ブースの装飾を行い、EXPO会場での広報・PR、ランナーとの交流等を行うこと。なお、「チャレンジパートナー」に応募する団体のEXPO出展義務はありませんが、EXPO会場での広報・PR（職員の配置を伴わないパネル掲出など簡易な方法）に努めること。
- (5) 組織委員会と連携する株式会社LIFULL SOCIAL FUNDINGが運営するサイト「LIFULLソーシャルファンディング」に登録していること（本応募時点において新規登録申請中で登録見込みの団体は応募可）。
 - ※「LIFULLソーシャルファンディング」は、チャリティランナーが、友人、家族等に広く寄付を呼びかけ、寄付先団体を支援する仕組み（クラウドファンディング）を提供します。
 - ※ LIFULLソーシャルファンディングへの新規登録を申請する場合は、下記URL内の「まずはオーナー登録する」からお申込みください。なお、資格審査等に7営業日を要します。
 - LIFULLソーシャルファンディング（寄付）
ホームページ URL <https://lifull-socialfunding.co.jp/kihu/pages/project/>
- (6) 日本国内に拠点を持つ非営利団体で活動実績が応募時点で3年以上の団体であること。
 - ※法人格の有無は問わず、任意団体も可。
 - （例）特定非営利活動法人（NPO法人）、一般社団・財団法人、公益社団・財団法人、社会福祉法人、学校法人等
- (7) 1年間の年度決算書等をホームページで開示していること、かつホームページで活動が閲覧できる団体であること。
- (8) 利益を団体の構成員で分配していないこと。万が一、団体が解散する場合でも財産を団体の構成員で分配しない規約になっているかどうか確認できること。
- (9) 団体名義の金融機関口座を持っていること。
- (10) 以下のいずれにも該当しない団体であること
 - ① 個人的な活動や趣味的なサークルなどの団体
 - ② 政治活動や宗教活動を主たる目的とする団体
 - ③ 反社会的勢力と関係を持つ団体（取引先を含む）

4 応募期間

令和元年11月1日(金)から12月9日(月)まで

5 応募方法

- (1) 大阪マラソン公式ホームページから、申込書をダウンロードし、必要事項をご記入のうえ、「7 提出先」まで、電子メールで送信してください。[締切：12月9日(月)]
※ 申込書は、印刷した際に、記入内容が全て表示されているかを確認の上、「エクセルファイル」と「PDFファイル」の両方をお送りください。
- (2) 次の添付書類を郵送してください。[12月9日(月) 必着]

①定款（規約、会則等）、②役員名簿、③直近年度の事業報告書・決算書、④当該年度の事業計画書・予算書、⑤団体概要がわかる冊子（各1部）
※ 一般社団・財団法人の場合、非営利型の定款を提出すること。
※ 上記以外の資料の提出をお願いする場合があります。

6 応募にあたっての留意事項

- (1) 応募に当たっては、「フラッグシップパートナー」又は「チャレンジパートナー」のどちらかを選択してお申し込みください。なお、「フラッグシップパートナー」に応募される場合に限り、「チャレンジパートナー」の同時申し込みができません。
- (2) 「フラッグシップパートナー」に応募する団体は、P2の7つのチャリティテーマの中から第一希望と第二希望の2つのテーマ（必須）をお選びください。チャリティランナー枠は、1口10枠で2口（計20枠）以上でお申し込みください。
- (3) 「チャレンジパートナー」に応募する団体は、7つのチャリティテーマの内、活動テーマの最も近いと思われるテーマをお選びください（いずれにも該当しない場合はその他を選択し、内容を記入してください）。チャリティランナー枠は、5枠以上でお申し込みください。

7 提出先

大阪マラソン チャリティ事務局

〒530-0001 大阪市北区梅田1丁目11番4-1000号

office musubime 大阪マラソンチャリティ事務局担当 宛

TEL：06-6131-9764 FAX：06-6131-6199（平日午前9時～午後6時）

E-mail：charityoffice@osaka-marathon.com

8 選考基準

提出された書類に基づき、以下の基準で選考の上、寄付先団体を決定します。

(1) 応募動機と活動状況

- ① 応募内容に沿った活動が期待できる。

(2) チャリティプログラムに対する意欲とコラボレーション企画の提案

- ① チャリティランナーの募集方法に具体性、意欲があり、申請枠数のランナーを集めることが期待できる。
- ② チャリティランナーの支援内容に創意工夫があり、実行することができる。
- ③ E X P Oブースや大会当日の取り組みに創意工夫があり、実行することができる。
(「フラッグシップパートナー」のみ)

(3) 告知や広報活動を積極的に行える団体かどうか

- ① 発信による波及効果が期待できる（SNSのフォロワー数等）。
- ② 発信頻度が高く、積極性が感じられる。
- ③ 寄付者へのお礼・活動報告に工夫がある。
- ④ 大阪マラソンのチャリティプログラムを理解し、広報活動を効果的に行うことができる。
(「フラッグシップパートナー」のみ)

(期待する内容)

大阪マラソンへの参加を契機として、大阪の魅力発信や地域社会づくり、地域貢献につながる取り組みを積極的に行うことができること。

- ① 大阪の魅力や歴史、文化等の発信、地域社会づくりや地域貢献につながる取組みを、自らの活動やチャリティランナーの寄付募集等を通して実施。
- ② 大阪の地域住民の参加を促進するプログラムの実施。
- ③ 行政や地元企業、地域社会、住民との協働や、協働につながる取組みの実施。

(注) 選考内容等への質問、異議申し立てには応じられません。

9 選考結果

選考結果については、結果に関わらず、令和2年2月頃に書面で通知するとともに、決定団体名を大阪マラソン公式ホームページに掲載します。

10 決定後の手続き

- (1) 寄付先団体決定後、改めて、申請時のチャリティランナー枠数を基本に、チャリティのランナー枠数を申し込みいただきます。なお、購入金額については、別途、お知らせいたします。
お支払いについては、令和2年12月下旬頃、予定しております。
 - ・「チャレンジパートナー」は、5枠以上
 - ・「フラッグシップパートナー」は、1口10枠で、2口以上
- (2) 寄付先団体からの申請に基づき、チャリティランナー枠の割り当て調整を行います。なお、チャリティランナーの総枠数を踏まえ、上限数を制限させていただくことがありますので、予めご了承ください。
- (3) チャリティランナーが集めた寄付金は、LIFULLソーシャルファンディングから、手数料等を差し引いた額をチャリティランナーが支援する寄付先団体に振り込まれます。

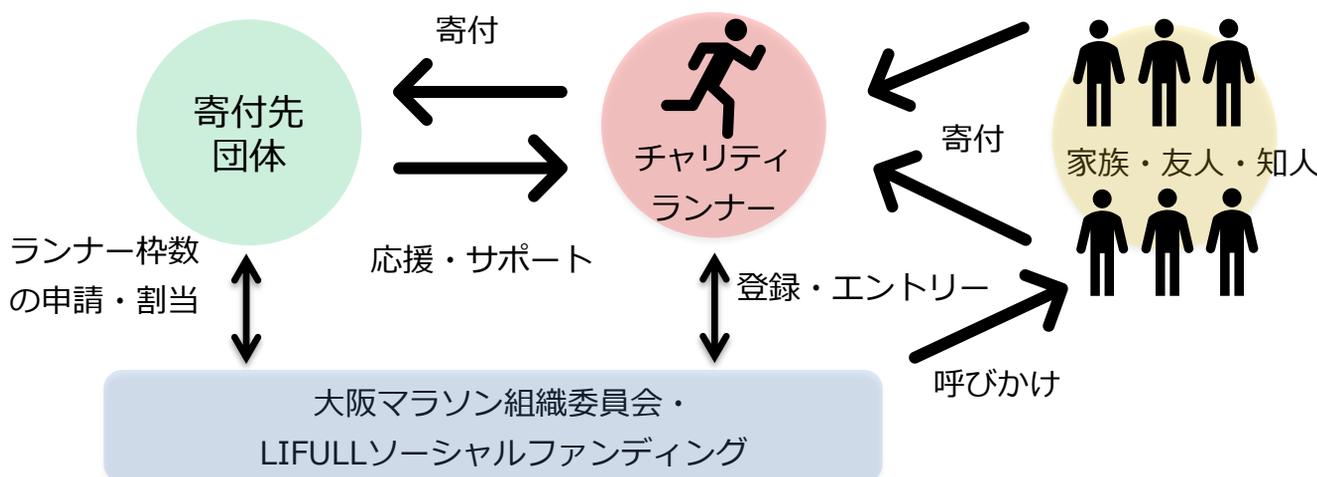
「チャリティランナー（寄付を集めて走るランナー）」について

大阪マラソンではランナーが支援したい寄付先団体を選び、家族や友人、その団体の活動に共感した人などから7万円以上の寄付金を集めて大阪マラソンに出場できる「チャリティランナー」を募集しています。

- (1) チャリティランナーは、エントリー時に「LIFULLソーシャルファンディング」に登録し、寄付先団体を選んで、目標金額（※）を設定し、寄付先団体からの応援もいただきながら10月下旬頃までに目標額の達成をめざして寄付金を募ります。

※ 目標金額：最低7万円以上、登録時に、ご自身から2万円以上の寄付が必要となります。

- (2) 寄付金が7万円以上になると、チャリティランナーは大阪マラソンに出場していただきます。なお、7万円を集めることができなかった場合でも、満たない金額分をチャリティランナーご本人に負担していただき、出場していただきます。



11 寄付先団体にご協力いただきたいこと

(1) チャリティランナーのサポート

各寄付先団体には、合同練習会、交流会イベントや、大会終了後の慰労会などチャリティランナーのサポートに協力していただきます。

組織委員会、寄付先団体が一体となって、チャリティランナーのチャレンジを支えます。

(2) 寄付先団体の活動紹介等

EXPO会場内のチャリティブースを通じて、自らの団体の活動紹介やランナーとの交流を図ってください（「フラッグシップパートナー」は原則必須、「チャレンジパートナー」は任意ですが、可能な限り参加してください。）。

ただし、やむを得ない事情で活動が困難な場合は、別途機会を設けて活動を行ってください。

【大阪マラソンEXPO2020概要（予定）】

- ・ 期 間：2020年秋（大会開催日の前々日から2日間）
- ・ 会 場：インテックス大阪（ブース出展料は無料）
- ・ 設営日：EXPO開催日の前日

12 寄付金の種類と配分

チャリティプログラムによる寄付金は、分類すると以下のように配分されます。

- (1) エントリー時のチャリティテーマ別チャリティ募金（ランナー全員がチャリティに参加）**
 - ・一般ランナーには、参加料とは別に、おひとり様2口以上（1口500円）をチャリティ募金として、選択したチャリティテーマへの寄付をお願いしています。
 - ・チャリティ募金は、「フラッグシップパートナー」の寄付先団体に対して交付されます。
- (2) 各団体チャリティランナーが集めた寄付金・各団体への募金**
 - ・チャリティランナーが集めた寄付金は、手数料等を差し引いた金額が寄付先団体に振り込まれます。
 - ・各団体専用募金箱への寄付金
- (3) チャリティグッズと各種募金（寄付先団体全団体に配分）**
 - ・チャリティグッズ（※）の販売による寄付金
 （※）なないろチャリティTシャツ、なないろチャリティキャップ、チャリティウィンドブレーカー、なないろアームウォーマー、ニックネーム入りナンバーカード
 - ・EXPO、沿道、商店街等で集める募金箱の募金

寄付金の種類と配分方法

寄付金の種類	フラッグシップ パートナー	チャレンジ パートナー
(1) エントリー時のチャリティ募金	○ (各色2団体に配分)	—
(2) チャリティランナーが集めた 寄付金・各団体専用募金箱等	○	○
(3) チャリティグッズ、EXPO・沿道 ・商店街等で集める募金箱等	○ 全団体に均等に配分	

(注) 寄付金の一部は、募金箱製作に関わる費用、寄付金の送金手数料等の運営費用に充当します。

【参考】第8回大会のチャリティ募金額

募金の分類	募金額
エントリー時のチャリティ募金	53,722,500円
チャリティランナーが集めた寄付金	58,595,613円
各団体への募金	1,125,138円
チャリティグッズ	35,054,200円
EXPO・沿道・商店街等で集める募金箱	1,625,477円
合計	150,122,928円

13 寄付金の使途・報告

寄付金については、各団体のホームページ等で情報公開するとともに、「寄付金活用事業の事業報告書」及び「寄付金の使途報告書」等（令和3年2月末）を提出していただきます。

- （注）組織委員会として寄付金の充当が妥当ではないと思われる内容については、当該団体と調整の上、対象外とする場合があります。
詳細は、寄付先団体確定後に行う説明会でご説明をさせていただきます。

14 寄付先団体の取り消し

以下のいずれかに該当する場合、寄付先団体の資格を取り消します。

- （1）3ページの「3. 応募資格」を満たさなくなった場合
- （2）団体が活動を停止又は、解散する場合（その手続きに入った場合も含む）
- （3）法人格の認証が取り消されるなど非営利団体としての活動が困難な場合
- （4）その他組織委員会が取り消しの必要があると判断した場合

（寄付先団体の取り消しによる寄付金の取り扱いについて）

- （1）エントリー時のチャリティ募金等、チャリティプログラムによる募金は、資格を取り消した寄付先団体には交付せず、当該年度の他の団体（第10回の寄付先団体）に均等に配分します。
- （2）すでに寄付先団体に交付している寄付金については、全額、組織委員会に返金することとし、当該年度の他の団体に均等に配分します。
- （3）チャリティランナー枠の購入費用は、資格を取り消した場合でもお支払いいただきます。
- （4）組織委員会は、取り消しによる事務処理に関する諸費用、各寄付者からのクレームによる被害、風評被害その他の損害について、当該団体に損害賠償請求できるものとします。